



市民医療講座を開催します

当院の医師や医療スタッフが、診療内容や最新の情報をお伝えすることを目的として、市民医療講座を開催しています。Zoom形式でも同時配信いたします。ぜひお気軽にご参加、ご視聴ください。詳細は当院ホームページをご確認ください。



場所：当院いろはホール及び オンライン配信

「おなかのがんの早期発見・早期治療 ～胃カメラ・大腸カメラのすすめ～」

日時 11月12日(土) 午後1時～午後2時 講師：水谷 直揮 消化器内科医員

「胃がんとフレイル ～よく食べ、よく動き、皆とつながろう～」

日時 11月12日(土) 午後2時半～午後4時

講師：病院長 岡 義雄、福岡 達則 理学療法士、小島 敦子 管理栄養士

●会場参加…申込不要・参加無料 ●オンライン参加…要申込・視聴無料

申込はこちら▼



「思春期を迎える子どもの心と体について」

日時 11月20日(日) 午後2時～午後3時半

講師：長谷川 泰浩 小児科部長、堀場 由希子 公認心理師 臨床心理士
みのおママの学校 谷口 陽子 助産師

●会場参加…要申込・参加無料
定員80名(申込順)



申込はこちら▶

●オンライン参加…要申込・視聴無料
定員500名(申込順)



申込はこちら▶

●今後の予定 12月17日(土)糖尿病 ※タイトル、内容については、変更になる場合がありますので、ご了承ください。

マイナンバーカードが保険証として利用できます

当院では、患者サービス向上などを目的としてマイナンバーカードの健康保険証利用の対応を開始しました。なお、マイナンバーカードを利用する場合も診察券、医療証等は、これまでどおり毎回お持ちください。

マイナンバーカードを健康保険証として利用するには、あらかじめマイナポータルサイト等にて利用申し込みを行い、健康保険証としての登録を完了する必要があります。

詳細は、マイナポータルのホームページをご覧ください。

マイナポータルサイト



マイナンバーカードを健康保険証として利用する主なメリット

- 就職・転職・引っ越しをしても健康保険証としてずっと使えます。(医療保険者への加入の届出は引き続き必要です)
- 同意をすれば、初めての医療機関等でも、今までに使った正確な薬の情報が医師等と共有できます。(※令和3年10月以降に処方されたお薬が対象)
- マイナポータルで自身の特定健診情報、薬剤情報、医療費情報を見ることができます。

ご不明点、使い方など、詳しくは、医療事務室職員にお気軽にお尋ねください。



健康保険証としての利用申込・不明点はこちらへ

マイナンバー総合フリーダイヤル 0120-95-0178

●受付時間 平日 午前9時30分から午後8時00分まで
土日祝 午前9時30分から午後5時30分まで

寄附のお願い

箕面市立病院では、みなさまからのご寄附をお願いしています。みなさまからのご寄附は、地域医療の推進のため、新しい病院建設のために大切にさせていただきますので、ご支援を賜りますようお願いいたします。詳しくは当院ホームページの寄附ページをご覧ください。

〈寄附ページ〉



こちらもご覧ください!
リアルタイムな情報が満載!

編集発行：箕面市立病院 事務局病院経営室
TEL:072-728-2001
所在地：〒562-0014 大阪府箕面市萱野5-7-1
HP: https://minoh-hp.jp

〈箕面市立病院HP〉



箕面市立病院だより

2022.11
vol.39

特集テーマ

内視鏡センター

～検査から治療まで、地域の消化器診療を支えます～



内視鏡センターの消化器内科医師一同

内視鏡センターのご紹介

当院内で内視鏡による検査・治療を専門的に行うセンターです。医師は消化器内科医師を中心に、外科医師、消化器内視鏡技師認定者含むセンター専属の看護師、放射線技師などによるチーム体制で、各種検査・治療にあたっています。平日の午前は主として上部内視鏡検査(胃カメラ)を、午後は下部内視鏡検査(大腸カメラ)を中心に行っています。

また、胃や大腸など消化管からの出血や胆石による胆管炎、異物誤飲などの緊急を要する検査・治療に関しても、2次救急病院として休日・夜間を問わずしっかりと対応させていただきます。

これからも地域の皆さんの消化器疾患の検査から診断、治療を一貫して行う体制を整え、安全で質の高い医療を提供してまいります。



当センターでは、現在年間約6,000件の内視鏡検査・治療を行っており、いずれも経験豊富な医師や看護師などが診察・検査を担当します。

在籍医師 13名(そのうち女性4名)
・消化器内視鏡指導医…3名
・消化器内視鏡専門医…8名
在籍看護師 17名
・日本内視鏡学会認定
消化器内視鏡技師…6名
日本消化器内視鏡学会指導施設
(2022年10月現在)

内視鏡センター長からのメッセージ **由良 守** (内視鏡センターセンター長) 日本消化器内視鏡学会内視鏡専門医



内視鏡はスマホ？

携帯電話は通話をするだけの機械でしたが、スマホになって、動画やゲームなど色々なことができるようになりました。同じようには「胃や腸の中を見るため」だけの道具であった内視鏡が、現在は検査や治療で様々な役割を担っています。「私たちの技術と、スマホのように進化した内視鏡で皆さんの健康のお役に立ちたい。」それが私たち内視鏡センターの願いです。検診で異常を指摘され、精密検査が必要な方や、かかりつけ医の先生から精密検査を勧められた方など、内視鏡検査が必要と考えられる方は、是非、当センターで検査を受けてみませんか。

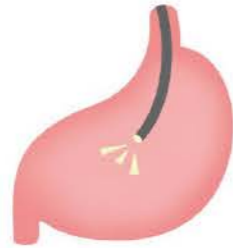
消化器疾患への対応は、早期発見・早期治療が重要です！

①「内視鏡検査で分かること」

上部内視鏡 (胃カメラ)

胃カメラ検査で見つかる病気は、ポリープやがんだけではなく。胃炎や逆流性食道炎などの比較的身近な病気に加え、ごく小さな粘膜の変化までを発見することができます。

また、がんに関しては早期に発見し適切な治療を受ければ90%以上の確率で治すことが可能とされています。



下部内視鏡 (大腸カメラ)

大腸カメラを受ける目的は、大腸がんを発見すること、大腸ポリープを切除し大腸がんを予防すること、大腸がん以外の病気を調べることです。大腸ポリープにはがんになる前のポリープが多く、切除することにより大腸がんを予防することが可能です。



② がんの早期発見と確定診断のための「超音波内視鏡検査(EUS)」

食道、胃・十二指腸、大腸、胆嚢、膵臓など消化管の腫瘍などを詳しく調べる際に行う検査です。特に、診断が難しいとされている膵臓がんや粘膜腫瘍の診断には欠かせません。当センターでは最新の超音波内視鏡検査(EUS)装置を導入し、これら疾患の早期発見と確定診断に努めています。

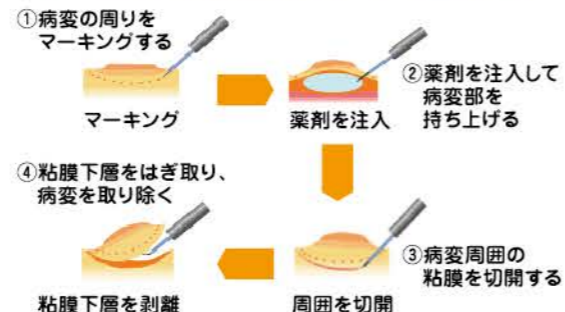
エコー検査と違って超音波内視鏡検査は、胃や腸の中の空気や腹壁、腹腔の脂肪、骨が画像化の障害になることもなく、観察目的の近くから高い周波数の超音波をあてることのできるため、他の検査で分かりにくい病変や小さな病変も観察が可能になります。

③ 患者さんの身体に負担の少ない治療法(ESD)

消化器(食道、胃、大腸)の早期がんには内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)を行っています。

早期がんの中でもさらに早期の病変に対して、右図のように、内視鏡で病変を一括切除するという治療法です。体の表面を切らないので、術後の痛みもほとんどありません。また治療には入院が必要ですが、数日~1週間程度で退院できますので、身体的にも経済的にも負担が少ないと言える治療法です。当センターでは積極的に同治療法に取り組んでおり、経験豊富な医師が多数在籍しています。

内視鏡的粘膜下層剥離術 (Endoscopic Submucosal Dissection ESD)



当院の内視鏡センターの特色

① 地域の医療機関からの検査依頼に、迅速に対応しています

地域の医療機関から、消化器疾患を疑われる患者さんの紹介が多いのが特徴です。胃がんおよび大腸がんなどの早期発見・治療を実現するために、検査依頼後、予約から検査まで一週間以内の実施をめざし、迅速に対応しています。



② 検査時の苦痛緩和に努めています

患者さんのご要望に合わせて、検査時に身体への負担が少ない鎮静剤の使用を行っています。さらに看護師が検査中に背中をさするなどの「タッチング」を心がけ、苦痛の軽減に努めています。

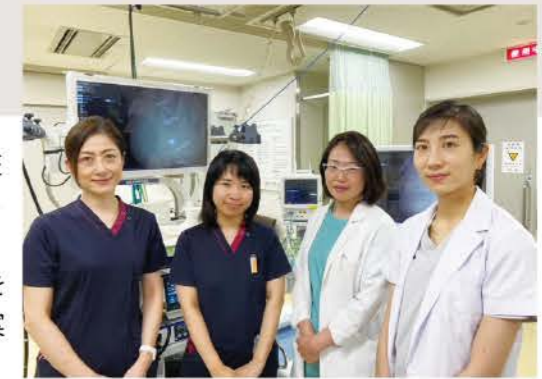
鎮静剤とは... 手術時の麻酔とは違い、ウトウトした状態で、検査をリラックス状態で受けるための血管注射です。検査後帰宅できますが、事故予防のため車・オートバイ・自転車などをご本人が運転することはできませんのでご注意ください。



③ 高度な技術を持った医師が連携して検査・治療にあたります

日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会の指導医・専門医が多数在籍し、消化器疾患に対する的確な診断・治療を行っています。女性医師も4名在籍しており、女性による検査希望にも柔軟に対応しています。

また、総合病院ですので、院内の消化器外科・放射線科と密接に連携をとりながら、チームで患者さん1人ひとりに合わせた最適な治療法を提案しています。



看護師からのメッセージ

当センターの看護師の役割は、患者さんに、安全に、そして安心して、検査を受けていただくことです。その際には、検査・治療の理解、扱う薬剤の知識、異常時の早期発見と対応が大切になってきます。スタッフ間での情報共有や、新しい知識習得のための研修や学会への参加など、医師とともにチーム全体で負担の少ない検査となるように取り組んでいます。なにかあれば気軽に声をかけてください。



※当院の内視鏡センターに関してや、それぞれの検査の受け方、流れについて、ホームページでより詳しく案内していますので、ご覧ください。

